



昭和中だより

ハートフル昭和

<http://www.city.akishima.ed.jp/~showa/>



令和7年10月31日

第7号

昭島市立昭和中学校
校長 渡部 尚

「貢献する」ということ

先日、市役所で行われた「あきしま会議」という会に参加してきました。これは、昭島市内で教育・福祉・スポーツ・環境保全などの様々な分野で活動している方々が、その取組を発表しあい、昭島市をより良くするためにどうすればよいかを話し合う会です。当日は12団体40人ほどの参加者がおり、活発な発表と意見交換が行われました。

発表された内容は、「一人暮らしの方を支える活動」「めだかフェスの開催から昭島を知つてもらう活動」「市民の健康寿命を伸ばす活動」「物流データセンターの建設による環境への影響を研究し、安心・安全な生活を求めていく活動」など、多岐にわたっていました。私はその中でも、ある団地に長くお住まいの方が継続して取り組んでこられた美化活動について感銘を受けたのでご紹介します。

●団地のゴミ問題に長年取り組んできたSさんの話

Sさんが住む団地は多摩川の河川敷に近いところにあります。かつては連日、敷地内で違法改造したバイクを乗り回した挙句にゴミを散乱させていく若者が多くいました。住民は、若者が怖くて注意できない状態で、警察に相談しても一時的な抑止力にしかならず、いたちごっこ状態でした。

そんな中、自分に何が出来るかを考えたSさんは、「毎日ゴミを拾って対抗してやる！」「彼らの良心に訴えることができるかもしれない！」と決意し、団地の敷地内から河川敷まで、一人で毎日毎日、徹底的にゴミ拾いを続けました。すると、次第に若者たちはおとなしくなっていき、ゴミの散乱もなくなっていました。



Sさんは、「割れ窓理論」を基に活動を続けた、と言います。これは、アメリカの犯罪学者によって提唱された考え方で、①1枚の割れた窓を放置すると、「誰もこの場所に関心がない」というメッセージになる。
→ ②それがさらなる軽犯罪（落書きやゴミの放置など）を誘発する。→ ③軽犯罪が増えると、大きな犯罪も起こりやすくなる。→ よって、小さな問題でも早く対処することが重要。という考え方です。

その後、一人で始めたSさんの活動は、団地の自治会に広がって協力者が増え、団地のクリーン会として組織的に活動するようになったそうです。

* * * * *

「あきしま会議」に参加されていた方々は、ほぼボランティアの活動で、昭島市民のために何が出来るかを考えて、心で活動している方ばかりでした。学校を考えても、PTAや地域の方々から見えない、気付かない部分でも支えられて成り立っていることを実感します。生徒の皆さんも、小さな社会である学校の中で、委員会や係の仕事は勿論、何か貢献できることを見つけて心で動ける人になれるといいですね。

【10/20（月）朝礼講話より】

11月 行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	土		17	月	朝礼 実力テスト（3）
2	日		18	火	専門委員会
3	月		19	水	職員会議
4	火	三者面談（3）始 移動教室保護者会（1）	20	木	中央委員会
5	水		21	金	体験型英語学習（2）
6	木		22	土	勤労感謝の日 ESAT-J YEAR3
7	金	進路講演会（1）	23	日	
8	土		24	月	振替休日
9	日		25	火	避難訓練
10	月	生徒会朝礼 三者面談（終）	26	水	
11	火		27	木	
12	水	期末テスト 新入生保護者説明会	28	金	職場訪問（1）
13	木	期末テスト 第4回学校運営協議会	29	土	
14	金	期末テスト	30	日	
15	土				
16	日				

- 10月30日（木）に行われた音楽祭では、多くの皆様にご観覧いただきありがとうございました。来月号でその様子を詳しくお伝えいたします。ご感想もお寄せいただけた幸いです。
- 10月11日（土）の学校公開・道徳授業地区公開講座に多数お越しいただき、ありがとうございました。日常の生徒たちの頑張っている様子をご覧いただけたかと思います。今回は、保護者の皆様だけでなく、地域の方や次年度入学予定のお子様をお持ちの保護者の方もお越しいただいていました。また、PTAの運営委員会にも委員の皆様にお越しいただき、活動の確認ができました。改めまして、皆さま、ご協力いただきありがとうございました。
- 職場体験でご協力いただきました事業所の皆様、この度はお忙しい中、大変お世話になりました。感謝申し上げます。

